

# 海況速報（クロロフィルa分布）

平成29年7月28日

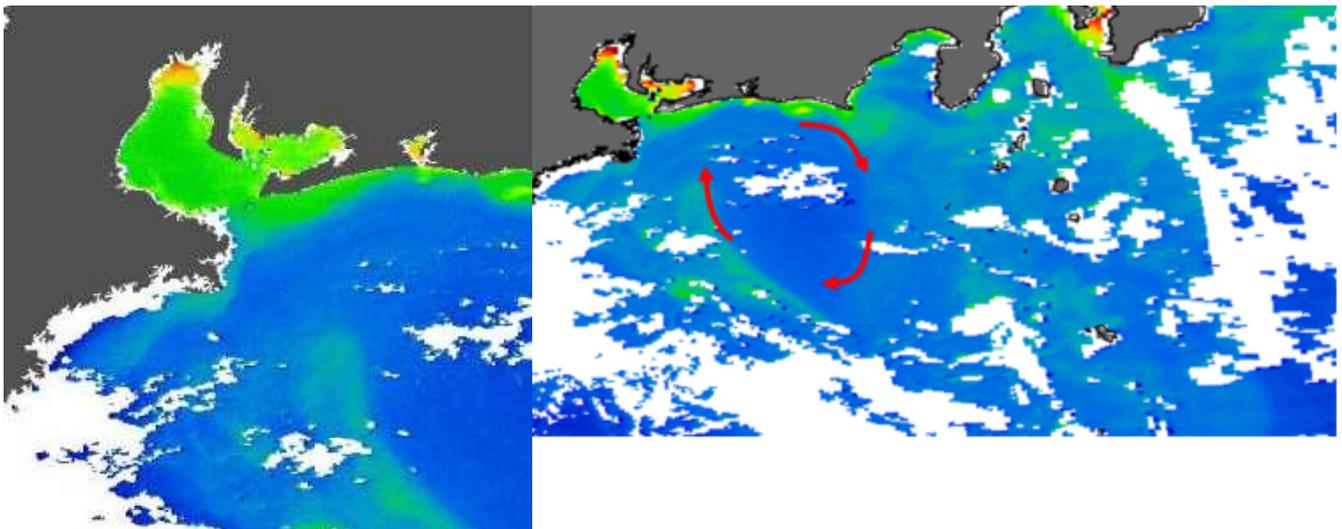
愛知県水産試験場 漁業生産研究所

7月26日の人工衛星クロロフィルa画像を見ると、クロロフィルa濃度は、内湾域では、伊勢湾奥部で高くなっています。7月20日の広域図をみると、浜名湖沖に暖水渦がみられており、その海域ではクロロフィルa濃度が低くなっています。

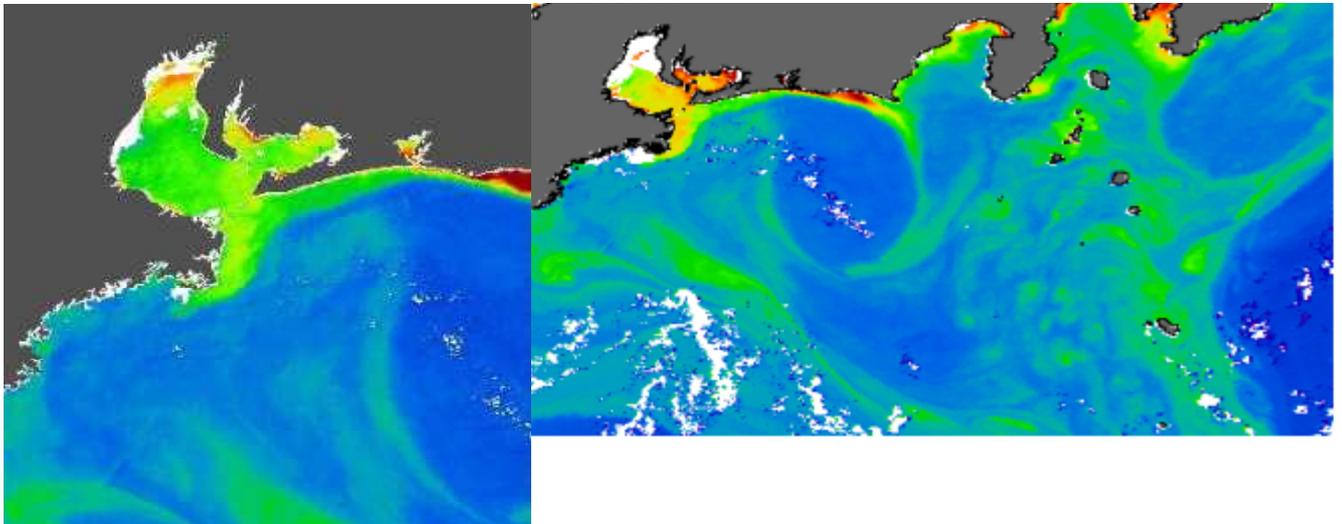
クロロフィルa濃度の経時変化を見ると、伊勢・三河湾、湾口域では5月下旬、渥美外海では4月下旬をピークに低下傾向となっています。渥美半島沿岸域では6月上旬以降、横ばいとなっています。

(宇宙航空研究開発機構(JAXA)／東海大学(TSIC/TRIC)提供のMODIS画像)

## 7月26日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布(広域図は7月20日)



## 7月15日のAQUAによるクロロフィルa濃度分布



※画像データによるクロロフィルa濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがありますので、目安としてご利用ください。

# 海況速報（クロロフィルa濃度の変動）

平成29年7月28日

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

人工衛星 AQUA に搭載された MODIS センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています（7月20日までのデータ）。

